

ちよっと
いい話

コラムは 毎日新聞

財布を自宅に忘れ

て出勤してしまっ

た。でも平気。スマ

ホに電子マネー機能

がある。これでコンビニやお

昼の支払いも全部OK。

夜が近づき焦り始めた。端

末の電池が残り少ない！ふ

と考える。この便利さ、大災

害の時は……？

東日本大震災では、直後か

ら現金のニーズが急増した。

日銀は、ガソリン不足で輸送

が止まる前に、と被災地の金

融機関の各支店まで、土日返

上で現金を運ばせた。



sui-setsu 福本 容子

水説

泥、油、塩にまみれたお札

や硬貨はきれいなものと交

換。その量、最初の1カ月で

10億円超。被災通貨は職員が

手で洗い、乾かし、点検した。

そんなありがたい国だか

ら、日本はやっぱり現金だ。

経済産業省が昨年4月にま

とめた報告書「キャッシュレ

ス・ビジョン」によると、ス

マホ（電子マネー、QRコー

ド）やクレジットカードでの

支払いが買物全体に占める

割合は、韓国の89%、中国の

60%に対し、日本は18%と低

かった（2015年時点）。

キャッシュレス「文明」

「普及しない背景」を読ん

で、ますます納得である。

その1||治安がいい。その

2||紙幣がきれいで偽札が少

ないなど、現金への「高い信

頼」。その3||店舗のレジの

処理が速くて正確。その4||

現金をいつでも引き出せる。

世界に誇るべき点ばかりで

はないか。なのに政府は遅れ

が恥ずかしいらしく、25年ま

でにキャッシュレス決済を4

割に高める目標を掲げた。

「キャッシュレス文明」と

までたたえる経産省。せいぜ

が「文明」なら、動物の骨や

魚の干ものなどに始まり、金

属の硬貨が生まれ、紙っぺら

でも信用されるお札へと、何

万年もかけて進化した伝統的

貨幣は何と呼ぶ？

その新文明参画の切り札と

して政府が目をつけたのは、

消費増税対策だ。キャッシュ

レスの買物には、5%のポ

イント還元を付ける。

投じる税金は19年度だけで

も2798億円。太陽系がど

のように生まれ、進化してき

たかを探る「はやぶさ2」の

総事業費の約10倍。もっと膨

らむ恐れがあり、麻生太郎財

務相も「大丈夫かよ」と財源

を心配する。

一方、経産省は、年度最後

のプレミアムフライデー（今

年は3月29日）を、「プレミ

アム・キャッシュレス・フラ

イデー」と命名した。

残業をやめよう、という働

き方改革と、消費喚起、それ

にキャッシュレス化キャンペ

ーンという三つの別物を、「エ

イヤート」とくっつけた。大

半の職場が最も忙しい日に。

大丈夫かよ。

（論説委員）